

## 第 18 回日本蛋白質科学会年会（新潟）若手賞の報告

---

平成 30 年 7 月 13 日

日本蛋白質科学会の若手賞の表彰は、蛋白質科学にかかわる若手研究者を奨励する事を目的とし、2008 年度からポスター賞と若手奨励賞の表彰をしています。書類選考により奨励賞を選び、その受賞者の講演を審査することにより奨励賞優秀賞の受賞者を決定しています。

平成 30 年 6 月 26 日～6 月 28 日に朱鷺メッセ（新潟市）において開催された第 18 回日本蛋白質科学会年会（城所俊一年会長）の受賞者のお名前と授賞式の模様をお伝えします。

若手奨励賞優秀賞 3 名

2SA-1 野澤 佳世（早稲田大学）

題目：メデイエーターの結晶構造から明らかになってきた転写開始のメカニズム

2SA-5 森 貴治（理化学研究所）

題目：大規模生体分子系に対するクライオ電顕フィッティングシミュレーションの高速化と応用

2SA-8 奥田 傑（大阪大学）

題目：7つの精製蛋白質によって再構成されたりポ多糖の膜間輸送

若手奨励賞 8 名

2SA-1 野澤 佳世（早稲田大学）

題目：メデイエーターの結晶構造から明らかになってきた転写開始のメカニズム

2SA-2 篠原 雄太（理化学研究所）

題目：哺乳類概日時計における温度補償されたリン酸化反応の設計原理

2SA-3 井澤 俊明（ミュンヘン大学）

題目：Vms1 is a cytosolic CAT-tailing antagonist to prevent aggregation of mitochondrial proteins

2SA-4 米原 涼（大阪大学）

題目：リソソームにおける mTORC1 活性化の足場を提供する Regulator-Rag GTPase 複合体の構造基盤

2SA-5 森 貴治（理化学研究所）

題目：大規模生体分子系に対するクライオ電顕フィッティングシミュレーションの高速化と応用

2SA-6 平賀 健太郎 (東京農工大学)

題目: A designed L-lactate dehydrogenase derived from L-lactate oxidase by engineering of oxygen accessible channel

2SA-7 吉村 優一 (オーフス大学)

題目: MOAG-4 promotes the aggregation of  $\alpha$ -synuclein by competing with self-protective electrostatic interactions

2SA-8 奥田 傑 (大阪大学)

題目: 7つの精製蛋白質によって再構成されたりポ多糖の膜間輸送

若手奨励賞には本年は32名の応募者があり、事前の書面審査により8名が受賞者として選考されました。奨励賞受賞者の皆さんには、大会2日目(6月27日)の午前中に開催された若手奨励賞シンポジウムにおいて、15分の招待講演を英語で行っていただき、厳正な会場審査が行われました。その後、会長を審査委員長とする審査委員会において、3名の優秀賞受賞者を決定いたしました。

若手奨励賞の発表および表彰式は、年会2日目の懇親会会場にて行われました。多くの懇親会参加者が見守る中、上記の3名の若手奨励賞優秀賞受賞者が発表され、会長から表彰状が授与されました。若手奨励賞優秀賞受賞者には、副賞として記念楯と来年のProtein Societyに参加するための渡航費が贈られる予定です。



若手奨励賞受賞者(左:城所年会長、左から2人目:三木会長、青色カバー付き賞状をもつ優秀賞受賞者)

ポスター賞 11名

若手奨励賞の表彰に先立ち、ポスター賞受賞者の発表が行われました(ポスター番号順)。

1P-004 郡 聡実 (横浜市立大学)

1P-010 Ganasen Menega (兵庫県立大学)

1P-055 河出 来時 (東京大学)

1P-074 妹尾 暁暢 (東京大学)

1P-078 吉田 浩平 (東京大学)

1P-090 平山 千尋 (東北大学)

- 1P-096 尾山 博章 (大阪大学)  
1P-123 志賀 翔多 (山形大学)  
1P-125 渋谷 怜 (早稲田大学)  
2P-015 藤山 敬介 (鳥取大学)  
2P-086 高瀬 安迪 (奈良先端科学技術大学院大学)

学生会員を対象とするポスター賞には129名の応募がありました。応募者全員による1分間のフラッシュトークと、ポスター会場での発表の双方を基に、審査委員による厳正な採点が行われ、各分野から上記11名の受賞者を決定しました。受賞者の皆さんには、表彰状が授与されました。



ポスター賞受賞者と城所年会長（左）、三木会長（左から2人目）

---

電子メール版ニュースレター発行

〒562-8686 大阪府箕面市稲4-1-2 日本蛋白質科学会事務局

Tel : 072-729-4125 / Fax : 072-729-4165

E-mail : jimmu@pssj.jp URL : <http://www.pssj.jp/>

編集責任者： 廣明 秀一（名古屋大学大学院創薬科学研究科）

白井 宏樹（アステラス製薬株式会社）